



いきいきとした町づくりをめざして

議会だより かつうら

No.20

2002. 8. 1 発行

発行 徳島県勝浦町議会
編集 議会広報調査特別委員会

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国
TEL (08854) 2-2511

いっぱいすくえるかな
(生比奈保育所七夕まつり)



このようなことが決まりました — 2

常任委員会の活動 — 4

こんな議論もしています — 6

合併をめざす1市4町 — 7

9議員の一般質問 — 8

声のひろば — 16

流域間 1市 4町 設置を可決

6月定例会

補正予算の主なもの

合併協議会負担金 802万7千円

財源内訳	国補助金	500万円
	県補助金	48万円
	町費	254万7千円

議案に対する主な質疑

- 問** 徳島市との合併を希望する声があるが、なぜ進めないのか。
- 答** 徳島市には、勝浦町との合併の考えは全くない。
- 問** 住民に対しての説明が不十分なので、協議会設置の前にアンケート調査をしてはどうか。
- 答** 新しい市の姿ができた段階で検討する。
- 問** アンケートの結果、住民から合併反対という答が出た場合はどうするのか。
- 答** 住民の意思であれば、そういう方向で調整しなければならないが、議会の意見も聞き対処したい。
- 問** 住民に対する今後の周知方法は。
- 答** 広報、地区集会などあらゆる機会を通じて説明し、理解を求めていきたい。

このようなことが決まりました

六月定例会は、六月十一日から二十一日までの十一日間開かれ、勝浦川・那賀川流域間一市四町合併協議会の規約と、十四年度補正予算を賛成多数で可決しました。また、勝浦町ライスセンターの設置及び管理に関する条例、議員提出の意見書などは全員一致で可決しました。

一般質問では九議員が登壇し、町の考えをただしました。

勝浦川・那賀川 合併協議会



五首長が固い握手（7月15日）

討 論

合併協議会の設置

反対 中西、原田議員

合併地区説明会の参加者が、町内戸数の二十％では、町民の理解が得られたとは思えない。協議会設置は時期尚早である。

賛成 川端、森（健）議員

財政事情や少子高齢化、地方分権など問題が山積している。対等の立場に立つての協議会設置であり、この機を逃すべきではない。

採決の結果、賛成十人、反対二人で合併協議会設置は可決しました。

議員提出議案 （意見書）

- (1) 道路整備が全国水準に達していない地方に対して、財源対策を充実すると共に、道路特定財源の堅持を求めるなどの内容
提出先 総理大臣、財務大臣、国土交通大臣ほか。
- (2) 林業などの基礎整備を進めると共に、林業労働力の確保など支援策を要請する内容
提出先 総理大臣、農林水産大臣ほか。

臨時会

議会から

農業委員を推せん

七月十二日に第一回臨時会を開き、議会推せんの農業委員に、溝田義昭議員、原田昭三議員を推せんしました。



溝田義昭議員



原田昭三議員

総務

町史編さん室を設置

六月四日に委員会を開き、一般会計補正予算の審議と、町史編さん事業などの報告がありました。

教育委員会から 町史編さん室を設置し、十四年度から三か年計画で、昭和五十八年度以降の町史編さんを行うとの報告がありました。

問 町史編さんの体制は。

答 教育委員会事務局長 行政経験のある町職員OB二人が事務にあたり、編集委員会は委員十人



役場西側に編さん室設置

で構成する。会議は年三回程度開き編集状況等について協議する。

問 十四年度の予算額は。

答 教育委員会事務局長 賃金、印刷費等で四百万円余りである。

学校完全週五日制の対応

教育委員会から 県単事業として「子ども地域活動等支援事業」と、パソコン講習会の報告がありました。

問 子ども地域活動等支援事業の内容は。

答 教育委員会事務局長 土曜日も休日を利用して、子供たちが地域のことに興味を持てるよう「民話を語り継ぐ会」や「子ども映画会」などを行う。

問 パソコン講習会「キッズ・小学生コース」の対象は。

答 教育委員会事務局長 保育所の年長組から小学校六年生までが対象である。

の活動報告

産業建設

ライスセンター 管理運営を委託

六月七日に委員会を開き、勝浦町ライスセンターの設置及び管理に関する条例、農業委員の議会推せんや、建設工事の請負に関する規則の一部改正などについて説明があり、審議しました。

問 ライスセンターの利用料金はどうなるのか。

答 産業振興課長 運営コストの削減に努め、農家の経費節減になるようにしたい。機械の耐用年数と積立金は。

問 ライスセンターの耐用年数と積立金は。

答 産業振興課長 耐用年数は八年で、毎年、百七十万円くらい積み立てる。

産業振興課長から 議会推せん農業委員を、七月に臨時会を開いて推せん願いたいとの申し入れがあり、委員会もこれを了承しました。

町工事前払金 一千万円以上が 五百万円以上に

今までの前払金は、一千万円以上の工事に支払われていたが、規則の一部を改正し、五百万円以上になり、七月一日より施行するとの説明がありました。



完成したライスセンター

立石正一氏の損害賠償請求事件について、五月十七日裁判所から原告の請求が棄却されたとの報告がありました。（その後、原告側が上告したとのことです。）

キンキサイン西側の砂利採取問題について、六月五日に両者の和解が成立したとの報告がありました。

国保滞納 悪質者には厳しく対応

六月五日に委員会を開き、勝浦町病院事業特別会計決算、国民健康保険特別会計補正予算などの審議と、心配ごと相談所の開設状況の説明がありました。

問 悪質な国保滞納者についての対応は。

答 税務課長 悪質者に対しては再三請求している。今後は保険証の返還など、厳しく対応していく。

勝浦病院の運営状況について

問 町外へのくらの患者が流出しているのか。また、勝浦病院の利用状況は。

答 病院事務局長 小松島市へ二十五%、徳島市へ二十%、羽ノ浦町へ四%余り流出している。勝浦病院の利用は約四十%で、残り十%が町内の開業医である。

問 勝浦病院と、特別養護老人ホームの電気代はどのくらいなのか。

答 病院事務局長 引き込みが一つなので基本料金は

均等にしている。利用料金は使用量に応じて計算している。

心配ごと相談 十三年度三十五件

問 心配ごと相談所の開催日数と件数は。

答 福祉課長 年間四十九回行っており、件数は十三年度三十五件であった。相談者が少ないので、日数等について検討したい。

問 福祉課長 検討してみたい。

答 福祉課長 検討してみたい。



町内患者の4割が利用する勝浦病院

常任委員会

新しい委員会構成

総務常任委員会

(企画、財政、税務、教育などを調査・審査)



川端雅夫委員長



森敏治副委員長



神原忍委員



押栗義雄委員

産業建設常任委員会

(産業振興、県道、町道の整備などを調査・審査)



溝田義昭委員長



国清栄副委員長



森健委員



西浜勝己委員

厚生常任委員会

(社会福祉、環境衛生などを調査・審査)



中田丑五郎委員長



福徳重二副委員長



宮本久治委員



原田昭三委員

議会運営委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 森敏治 |
| 副委員長 | 福徳重二 |
| 委員 | 川端雅夫 |
| 委員 | 原田昭三 |
| 委員 | 国清栄 |
| 委員 | 中西晴美 |

こんな議論もしています

議会全員協議会

合併問題

住民八十四人から緊急要望書

「六月議会で一市四町合併協議会の設置が決定されようとしているが、住民の理解がないままに、性急に話が進んでいる。合併の是非も含め、住民の意向を把握してからにはどうか」などの内容の要望書が住民八十四人の署名を添え、提出されました。

協議の結果、この問題は「議員個々の判断にゆだね、本会議で結論を出したい」との回答書を、代表者である山田善章氏に手渡すことで合意しました。

合併協議会

議会代表委員を選出

七月十五日に設置される協議会に、宮本議長と共に参加する委員二人の選出について協議しました。

議員からの意見

- ・他市町の実情などに詳しいベテラン議員が望ましいのでは。
- ・新しい町づくりの計画なので若手議員も入れるべきでは。
- ・合併に中立的な議員も加えてはどうか。

などの意見が出て調整がつかず、議長、副議長に人選を一任しました。

その結果、委員に押栗義雄議員、西浜勝己議員が選出され協議会には議会の意見を基本に臨むことを確認しました。

また、今は議員間に合併に対する認識の差があるが、今後は、勝浦町議会としての合意形成を図り取り組むべきだとの意見が出されました。

農業委員問題

議員が農業委員

議会苦渋の選択

農業委員会委員の選挙結果から、委員がなくなった四地区より「議会推せん」の農業委員をぜひ」との要望があり、議会推せん二人の枠では対応ができなくなりしました。

議員からの意見

- ・選挙で善戦した地区も考慮すべきだ。
- ・立候補を辞退した地区の気持ちも大切にすべきだ。
- ・農業者の多い二地区に推せんしてはどうか。
- ・四地区の中で、一番農業者の多い地区に一人を推せんし、一人は議会から選出してはどうか。
- ・この際は円満を考え、議会から二人を出すべきでは。

など、さまざまな意見が続出しましたが、「地区の円満などを考慮し、議会から二人の委員を」との意見が多数を占め、四人の選考委員に人選を一任、七月十二日の臨時会で推せんすることになりました。

農業委員会委員は法律で定められています。

・選挙による委員十人から三十人

(勝浦町は十人)

・議会の推せんする委員五人以内

(勝浦町は二人)

・農業協同組合の理事一人

・農業共済組合の理事一人

合併をめざす1市4町



小松島市



市役所



ミリカホール

- ・面積 44.89km²
- ・人口 43,083人
- ・職員数 484人
- ・議員数 24人
- ・14年度予算
137億2,600万円
- ・借金
197億1,100万円
- ・貯金
2億3,100万円

- ・面積 69.8km²
- ・人口 6,736人
- ・職員数 101人
- ・議員数 14人
- ・14年度予算
33億1,800万円
- ・借金
61億3,100万円
- ・貯金
2億5,700万円



福祉専門学校



町役場



勝浦町



上勝町



町役場



月ヶ谷温泉

- ・面積 109.68km²
- ・人口 2,124人
- ・職員数 63人
- ・議員数 12人
- ・14年度予算
27億9,800万円
- ・借金
35億400万円
- ・貯金
11億3,900万円

- ・面積 18.65km²
- ・人口 10,510人
- ・職員数 124人
- ・議員数 16人
- ・14年度予算
36億4,900万円
- ・借金
42億3,900万円
- ・貯金
3億1,400万円



科学センター



町役場



那賀川町



羽ノ浦町



町役場



情報文化センター

- ・面積 8.52km²
- ・人口 11,735人
- ・職員数 130人
- ・議員数 16人
- ・14年度予算
34億5,200万円
- ・借金
28億3,900万円
- ・貯金
1億900万円

与川内ホタル村保存会 町の対応は

地域住民と共に支援したい
(町長)



神原 忍 議員

問

近年、健康志向の高まりで、いやし立した。今後、ホタル



ホタルの生息が定着している与川内沼谷川

問

教育委員会で開かれているパソコン教室の内容と、受講生の受講後の状況は。

答

福徳教育委員会事務局長 緊急雇用促進事業で、パソコン指導者の雇用促進を図るのが目的で行われ、パソコ

パソコン教室は

生かされているか

仕事に役立つている

(教育委員会事務局長)

ンは図書館の視聴覚教室に二十一台、教育集会所に六台設置している。一般の講習会のほか、学校が完全週五日制になったことにより、小学校一〜三年生、四〜六年生と五〜六歳児を対象に、それぞれ三回行う予定である。十三年度の一般の受講者は延べ四百十四人で、受講後は仕事に役立つていると聞いている。

答

町長 交流の町づくりを進めており、自然と触れ合うことで、ホットする心のいやしになるのではないかと。また、ホタル村保存会設立は大変意義深いと思う。今後は、地域住民と共に支援していきたい。

答

戸川産業振興課長 中山間直接支払い制度の多面的事業の中で、ホタル村保存会と一体となり、自主的に活用をお願いしたい。また、県に向けては補助事業での対応を図っていききたい。

合併法定協議会 住民代表の 委員選出基準は

問

協議会に参加する住民四人の選出基準は。

答

倉橋助役 まず、合併に対して中立の人で女性を含め年代別などを考慮し、幅広い分野から選出したい。

答

町長 施設及び道路の移管については、建設当時と財政事情に大きな変化があり、災害時の財政負担、土地改良法など難しい問題もあるため、関係機関と協議し結論を出したい。

問

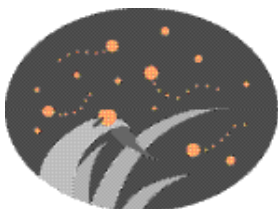
今後は、利用者から強い要望がある水質浄化策が待たれる。財政事情を踏まえた実施計画を示しては。

答

町長 貯水槽の汚濁が目立っている現在の調査で改善費は二

答

億円と予想されるので、町費負担などを考慮し対処したい。戸川産業振興課長 昨年、九月補正で調査費を計上し、調査を進めており、経過を見て対応したい。



押栗義雄 議員



を求め緑や清流などの自然と触れ合う人が増えている。

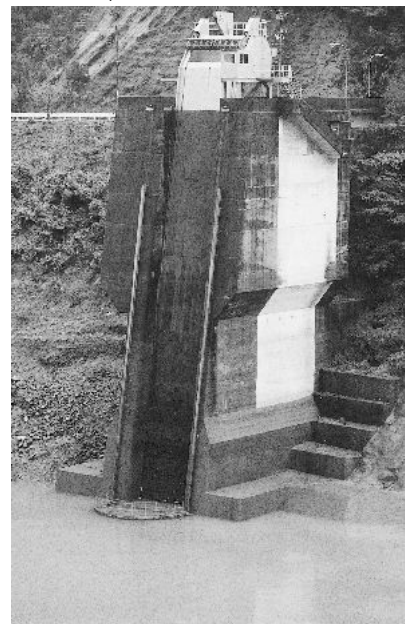
与川内の沼谷川ではたくさんさんのホタルの乱舞がみられ、これを保護することで環境保全にもつながるのではないかと、与

が住めるように谷川を整備し、来夏にはホタル祭りを計画したい。また、

中山間直接支払い制度を活用したり、坂本グリーンツーリズムとの連携を図り、地域の活性化につなげたいと思うがどうか。

畑総事業 町への移管は

問 畑総事業の工事は平成九年に終了し、今後は、施設の管理運営が重要と思う。完了した



水質浄化が望まれる畑総取水口

合併地区説明会

一回だけで 理解されたと思うか

合併はやむを得ないと
思っているのでは (町長)

原田昭三 議員



住民に理解されたと思っているのか。

答 町長 住民説明会については、他町と比べ参加者が多いと聞いている。また、出張講座も十八回行っている。

「合併はやむを得ない」と思っているのではないかと判断している。

問 五月十八日の「市町村合併を考える

問 合併についての説明会は各地区一回だけで、全世帯数の二割程度の出席しかなかった。これで一市四町の合併が

住民は合併についての認識ができていていると思っ

ているのか。

答 町長 住民の理解がなければ合併は進まない。

町民に対してデメリ

問 リットの説明ができていない。また、住民にアンケート調査を行う

のか。

答 理事 デメリットは、協議会の中で協議してみなければわからない。アンケートは今すぐに行う考えはない。

介護保険

減免制度が 必要では

総合的に検討
している福祉課長

総合的に検討している福祉課長

問 合併すると介護保険料はどうなるのか。

答 光井福祉課長 合併により、高齢化

問 比率が下がるので、保険料は安くなると思われる。

保険料は高齢化比率だけでなく、施設の数にもよるのではないかと。

答 光井福祉課長 その通りで施設が多くなれば高くなる。

問 減免制度は低所得者を救うためぜひ必要と思うが。

答 光井福祉課長 今年度は保険料見直しの年であり、基準額アップが考えられる。軽減分を一号被保険者に上乘せすることへの理解や合併問題など、課題が多く総合的に検討している。

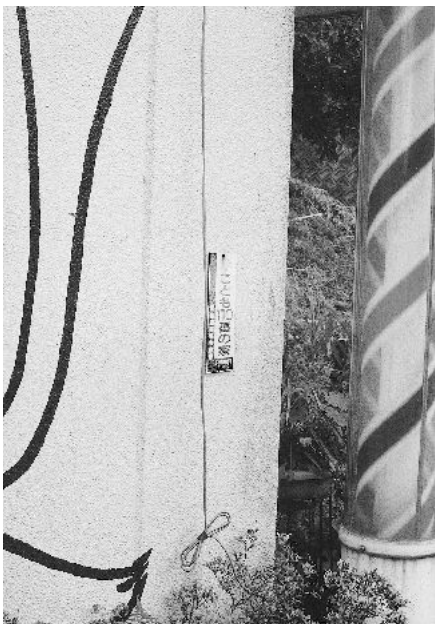
「こども110番の家」 表示を わかりやすく

良い方法を考えて
いきたい (教育長)

問 小・中学生の安全登下校のため「こども110番の家」が設置さ

れているが、表示がわかりにくい。わかりやすくすべきでないか。

答 教育長 現在三十五か所設置しているが、小松島警察署とも相談し、良い方法を考えていきたい。



目につきにくい表示板

まず上勝町と合併しては

二〇二三年で次の合併が必要に(町長)

中西晴美 議員



人位の町であり、国は一人まで交付税減額の方針と聞いている。仮に上勝町と合併しても、二〇三年の間に次の合併を考えなければならぬ。一市四町の合併では、人口七万四千人となり、徳島市に次ぐ市になる。今はそういう広い視野が必要時期だと思う。

問

一市四町の合併が、勝浦町民にとって将来の幸せにつながると思っているのか。小松島市は、衰退した市街地の再開発や港湾整備などメリットはあるが、勝浦町にはデメリットだけの合併になるのではないか。

答

産業構造や住民意識もよく似た上勝町との合併が、最も町民の幸せにつながると思う。その他の市町村との合併は、それからじっくり考えてもよいのではないか。

の問題を解決しないまま法定協議会を設置するのは、時期尚早ではないか。

答

町長 合併は町の足腰を強くして、今のサービスを将来もできるだけ低下させないようには、いろいろな課題はあるが、相手のあることなので町単独では解決できない問題ではない。協議会の中で、町の立場を真剣に考えながら、公平な協議をしていきたい。

法定合併協議会

問題を残しての

設置は時期尚早だ

問題点は協議会の中で議論 (町長)

問

合併をすればすべての難局が乗り切れ、住民の幸せが確保できるとの甘い考えではダメだ。

また、住民の理解と財政問題や人権問題、勝浦病院や商工会の存続、産業構造の違いなど、多く

合併協議は

厳しい姿勢で

自分の主張ばかりではまとまらない

(町長)

問

小松島市で開かれた「市町村合併を考える・リレートーク」の中で町長は「譲り合いの精神で合併の協議を」と発言したと聞かすが、合併は一つの政治戦争だと思ふ。こんな弱気な姿勢では乗り切れないのではないか。町民のためにも

答

町長 指摘は謙虚に受け止めるが、一市四町が共同精神で合併を進めていく基本姿勢であり、言うべき時は譲らない構えで断固として意見を述べるが、自分の主義主張ばかりではまとまらないと思う。

水源税を

どう思うか

町には収入源、住民には負担に

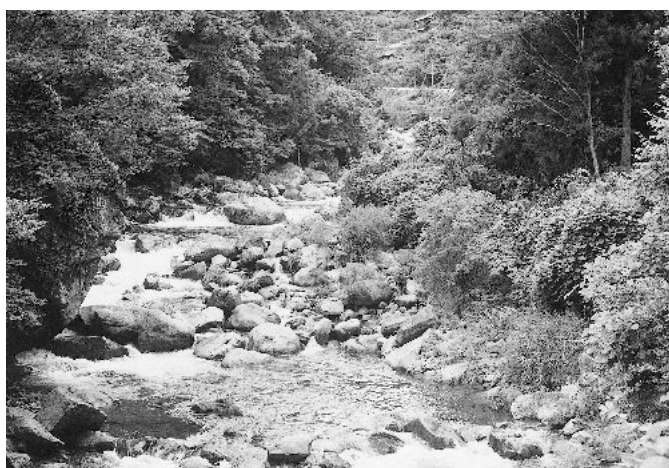
(助役)

問

治水や水の確保がなければ都市の生活ができないとのことから、全国的に水源税の必要性が叫ばれているが、将来、この税が実施された場合、厳しい町の財政状況がある程度救われるのではないか。

答

助役 現在、県で検討されているようだが、最終的には市町村との話し合いが必要だと思ふ。何に課税するかなどの問題点もある。市町村にとっては大きな収入源となるが、負担は住民に求められるので慎重にしなければならない。



どうなる水源税

まず上勝町と合併しては



ゴミ最終処分場

中止になった場合は

一市四町で取り組みたい（町長）

川端雅夫 議員



問 知事は最終処分場の工事を凍結した場合、工事関係者に迷惑をかけたり、多額の投資が無駄になるなどの問題は選挙前からわかっていたはずだ。それなのに一次凍結し、二週間後に工事を再開した。八月中旬までに結論を出すと言っているが、二市十五町村の一員としてどのような見解か。

答 町長 新聞などの情報によると、凍結はないと思っている。

高速道路の必要性は十分認識していると思うが、沼江バイパスと併せて、今後、どのような対応をしていくのか。

答 町長 町としても重要な路線と位置付けており、沼江バイパスと連結した場合、かなりの経済効果があると思

っている。今後も県に働きかけをしていきたい。

問 経済効果があると言いが、どんな効果があると思っているのか。

答 町長 農産物など

市町村合併

県の支援に

変化はないか

支援策は知事も了解（理事）

問 知事が県議の時の発言は「住民の意見を聞き、合併は慎重に進めるべき」と消極的であったと聞く。一市四町が法定協議会の設置を六月議会で提案しているが、県の姿勢に変化はないのか。

答 理事 合併を担当している地域振興局長が、知事に今までの取り組みの状況などを説明し、県の支援策は引き続き継続していくとの了解も得ている。



手入れの行きとどいた森林

問 県から財政的にはどれくらい支援を受けられるのか。

答 理事 合併協議会の活動支援事業費補助金として、三年で三千万円と、合併後、特例交付金として上限八億円が交付される。また、土木や農林については優先的に事業採択される。

林業活性化は

問 森林を守る林業従事者が減少し、問

伐もされていないのが現状である。知事は森林を整備し雇用の拡大を図ると言っているが、この事業に対してどのような取り組みをしていくのか。

答 理事 まだ具体的には煮詰められていないと聞いている。昨年

問 補助事業があったが、なぜ取り組まなかったのか。

答 戸川産業振興課長 緊急雇用の中の事業で、県に申請したが採

特別養護老人ホーム

増床を介護保険計画に

盛り込んで

計画策定委員会で論議する(福祉課長)

森 敏治 議員



介護保険計画策定委員会で論議していきたい。

特養の増床が病院経営に与える影響

石尾病院事務局長

隣接する介護施設が増床されると、患者数も多くなることが予想さ

問 今年度は介護保険計画見直しの年である。特養増床の要望が勝寿会から出されていると聞くが、計画に盛り込んでどうか。

答 光井福祉課長 平成十七年に三十床増床したいと申し出がある。増床すると保険料が高くなる要因となるが、現在八十人余りの入所待ちがあり、住民要望も強いので増床は必要と思う。

れ、収益増になると考えている。

合併問題の

合併問題の

今後は

勝浦と小松島、上浦の一市四町は、六月議

会で法定協議会の設置をめぐしているが、足並みはそろうのか。

町長 各市町とも努力しているので、協議会の設置は、そろって議決されると思う。

三月議会で「町独自の基本計画が早

急に必要な」と答弁したかどうなったのか。また、当面の課題は何か。

答 理事 町内を巡回して実施した説明会で「農業と福祉の町づくり」を明示してきたので、基本的方向はある程度理解されたと思う。

当面の課題としては、七月十五日設置される予定の協議会に委員として参加する住民代表四人の選出である。

合併事務をコンサルタントに委託してはどうか。

理事 四千を越える調整事項は、協議会の分科会で行う予定だが、町づくり計画の専門的、技術的な面は、外部委託も考える必要がある。

助役 知事は物づくり中心の公共事業でなく、住民が本来に求めているもので、地元経済が潤う公共事業に転換したいと言っている。町の事業は地域住民のために実施してきており、見直しや凍結はないと思う。

最終処分場は平成十八年完成の予定であり、遅れるとは聞いていない。

ゴミ最終処分場の見直しは

問 知事は公共事業の見直しを公約に当選したが、町としてどのように受け止めているか。また、最終処分場の完成が遅れることはないか。

町の将来を担う子供に対する教育は、

問 町の将来を担う子供に対する教育は、

子供たちの教育は

答 行政の重要な柱の一つである。社会的にもいろいろな問題や課題があるがどう対応するのか。

福祉教育委員会事務局長 今年度から完全週五日制が実施され、土曜日の受け皿として、お話し会や、パソコン教室、映画会などを実施しているが、学校、家庭、PTAと教育委員会が連絡を密にして子育て支援をしていきたい。

人権教育は、生涯学習の視点に立ち、幼児期から段階的に、学校教育と社会教育が連携を図り実施したい。

人権教育は、生涯学習の視点に立ち、幼児期から段階的に、学校教育と社会教育が連携を図り実施したい。

人権教育は、生涯学習の視点に立ち、幼児期から段階的に、学校教育と社会教育が連携を図り実施したい。

人権教育は、生涯学習の視点に立ち、幼児期から段階的に、学校教育と社会教育が連携を図り実施したい。



特養増床との関連は



18年完成予定の最終処分場の工事現場

一市四町合併

地区説明会での 住民の反応は

理解は得られたと思う（理事）

中田丑五郎 議員



に住民の意見を聞いてほしい」との声もあったと聞いている。今後、町内二〜三か所で合併協議の経過説明を兼ねた住民集会を開き、合併への理解をさらに深める努力をすべきと思うが。

をしていきたい。住民の意見を聞き、将来の町づくり構想を的確に反映できるシステムを役場内に設置し、政策能力のある専従スタッフを配置しては。

答 理事 専従職員を配置するだけでは新しい町づくり計画はできない。職員一丸となつて取り組んでいく考えである。

問 厳しい財政状況の中、合併による住民サービスの低下に対応するため、住民と行政の情報伝達として、地域インターネットのさらなる拡充と、遅れている道路

網の整備など、社会資本の充実が急がれるがその対応は。

答 町長 合併後に相乗効果があるよう、財政の許す限り社会資本の整備充実を図っていきたい。

森林組合合併 と 雇用の拡大は

問 森林組合が十月一日に合併するが、メリットと雇用拡大の期待は。

答 戸川産業振興課長 作業班員の通年雇用が図られ、山村の活性化につながる。事務の効率化と、新たな分野への事業展開が可能となるなどのスケールメリットもある。

問 勝浦町の間伐面積は八百ha、試算すると約一億円の事業費となる。森林整備の事業費のほとんどが労務賃金で、地元にとって効率のよい事業である。森林行政の重要性を認識しているのであれば、職員の育成を



森林教室 今後の取り組みは

図り、森林組合と連携したシステムをつくらない」と雇用拡大への対応は無理でないか。

答 町長 知事の所信表明を視野に入れ、今後、人材育成や組織づくりなど前向きに取り組んでいきたい。

森林に対する 教育は

教育は

問 森林の果たす役割を理解してもらうため、小学生を対象に総合学習の時間を利用して、現地での森林教室や親子学習会を開いては。

答 福徳教育委員会事務局長 土曜日を利用して、森林の役割や重要性を学ぶため、県の出張事業で森林教室を開いたり、学校と協議し総合学習の中で取り組んでいきたい。

問 森林づくりの新しい力として「緑の少年隊」が結成されているが活動状況は。

答 福徳教育委員会事務局長 十一年度に会員五十一人で「横瀬緑の少年隊」が結成され、自然環境の調査や学校園での栽培、通学路の清掃などの奉仕活動も行っている。

問 合併について、住民の意向を聞く目的で開かれた地区説明会の出席率二十％を、どのように評価するか。

また、住民の意見の集約はできたのか。

答 理事 現時点でこの出席率は成果があったと思う。出席者がいろいろ意見はあったが、おおむね合併という方向で住民の理解が得られたと考えている。

問 地区説明会の中で「もっと町づくり



小松島市で開かれた市町村合併を考える・リレートーク

過疎地域自立促進計画

「新市」になっても大丈夫か

過疎地域の自立に役立つ（参事）

森 健 議員



くに欠かせない計画と
思っている。

問 十六年度をめぐり
した前期計画の進
み具合は。

答 秋本参事兼総務課
長 十四年度が終
わった時点で約十八億四
千万円。三十六・八%と
なる。

問 この計画の中に、
将来の地域振興に
欠かせない住民参加の町
づくりがあるが、その具
体策は。

答 秋本参事兼総務課
長 住民参加の町
づくりは、近年全国的な
傾向となっている。

施策が住民に、より密
着したものとなり、すで
に「農業プロモーション
協議会」。若い女性を中
心とした「いきいきセミ
ナー」。委員を公募した
「町振興計画」などがあ
る。

将来は、各種施策に応
じた公募による委員会の
設置や、アンケート調査
の活用等を考えている。

地域インターネット 導入促進事業 進み具合は

庁舎内と町の施設 に端末を設置（参事）

問 O A 化により効率
的な行政運営を
行っている町があるが、
勝浦町ではどうか。

答 秋本参事兼総務課
長 平成十五年の
国の電子政府に対応でき
るよう、十三年八月に町
の施設と事務職員一人一
台のパソコンを設置し、
行政情報の共有化ができ
ている。

問 役場が住民との間
で行う「双方向の
行政サービス」の提供に



行政情報がより身近に

については。

答 秋本参事兼総務課
長 町広報に各課
のメールアドレスを記載
した。町のパソコンと住
民からのメールによるや
り取りは可能となってい
る。

問 町民が活用でき
るようにするため
の支援については。

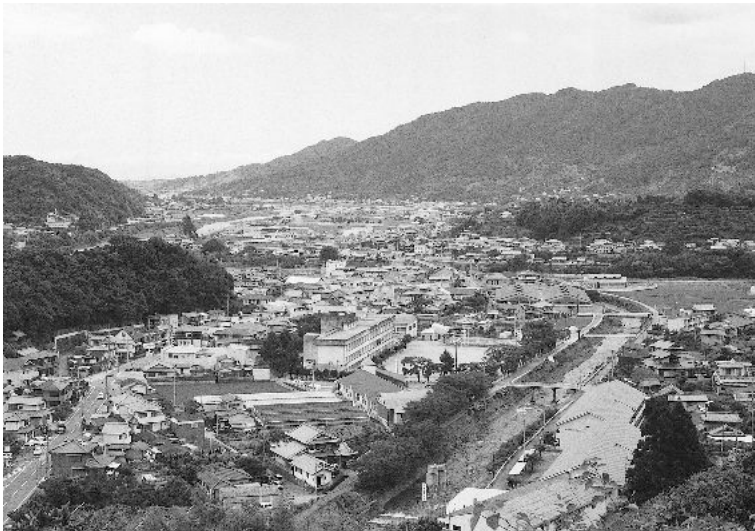
答 秋本参事兼総務課
長 機器の操作に

については、教育委員会が
パソコン教室を開いてい
るので利用してもらいた
い。

問 情報のレベルア
ップを図るため、モ
ニター制を導入してみ
ては。

答 秋本参事兼総務課
長 良いことと思
うので、よく検討したい。

問 過疎地域自立促進
計画による町づく
りを進めているが、一市
四町の合併後、勝浦町が
「特色ある地域」として
存在できる計画と思うか。
答 秋本参事兼総務課
長 この計画は、
前後期合わせて十年の計
画で、補助事業も含めて
おおむね五十億円である。
町の財政事情や、緊急度
により弾力的に対応でき
合併後においても、過疎
地域の自立に効果的に役
立ち「特色ある地域」づ



特色ある地域として存在できるか

新知事に期待するものは

緑の公共事業に大きな期待（町長）

西浜勝己 議員



待をもっている。

問

県民のネットワーク組織である「民主主義のがっこう」が設立されたが、町長の所見は。また、新知事に早く来町してもらう努力をすべきではないか。

答

町長 住民発議による「民主主義のがっこう」は大変良いことで、時間があれば出席

してみたい。また、知事にはできるだけ早く来町してもらい、町の実情や問題点を相談したいと思

合併問題

各首長の考えに差があるのでは

対等な立場で頑張っている（町長）

問

法定合併協議会でメリット、デメリットなど煮つめる中で、

答

「住民の反対が多ければ脱退もあり得る」と新聞報道された首長もある。協議会設置後の考え方に差があるのではないか。

町長 「一市四町が対等な立場で頑張っていく」と意思の疎通ができた上での協議会設置である。民意を十分反映させることは必要だが、初めから脱退もあり得るとの姿勢では、うまくいかないと感じている。

問

一市四町の枠組みが崩れても、勝浦町は初志貫徹の姿勢で臨むのか。

答

町長 協議会で問題が生じた場合など、節目節目には議会や住民に十分説明し、対応していきたい。

問

一市四町の中に、住民投票の話もあると聞くが、合併問題でこのような直接民主主義の選択肢についての見解は。

答

助役 住民の代表である議会の議決で進めるのが一番合理的だが、住民投票条例等が正規の手続きで制度化されれば、尊重しなければならない。

特養の増床について

ついて

問

今年の三月議会で「福祉の充実が町の重要課題だ。待機者の多い特別養護老人ホーム増床を、あらゆる制度を活用し、行う必要があるのでは」との質問に対し、

答

町長 三月の時点では、勝寿会から正式に増床の要望はなかったため、今までのように用地や事業費に、町費負担はできないとの観点で慎重に答弁した。

町長 「今は検討する段階ではない」との答弁であった。それが今議会で増床に取り組むといっている。評価はするが、こんな重要施策が二、三か月でころころ変わるの

今回の増床計画は、町費がほとんどいらぬとのことなので、町として申請など、できる限りの支援と協力をしていきたい。



17年に30床増床の計画が



間伐材を利用したハウス施設

声のひろば



子供たちの 明るい声が聞こえる町に

尾崎 アキ子 さん (棚野)

(奈良県吉野郡天川村出身)



最近実家の両親も高齢になり、春と秋の二回里帰りしています。

Q 将来どんな町になれば良いと思いますか。

A 若い人が定住し、子供たちの明るい声が聞こえる町であって欲しいと思います。

Q 現在の家族構成は。

A 主人と主人の母、娘の四人家族です。

Q 勝浦町の印象は。

A 山あり川あり谷ありの丁度いい感じの自然がいっぱい。

Q この町に来て驚いたことは。

A 秋にみかんが実り、山々がみかんの色で染まることです。

Q 感心したこと

A 女性がよく働き、専業主婦という人がとても少ないことです。

Q 里帰りは今までに何回くらい

しましたか。

A 子供が学生だったころは、年一回夏休みと決めて

いましたが、

最近の両親も高齢になり、春と秋の二回里帰りしています。

Q 故郷はどんなところですか。

A 奈良県の小さな過疎の村ですが、修験道で有名な大峰山があり、近年は関西の軽井沢とも言われ、夏場は避暑地として大変にぎわっているようです。

Q 勝浦町に住むことになったきっかけは。

A 大阪で同じ職場だった勝浦町出身の主人との結婚を機に住むことになりました。



編集後記

いよいよ台風シーズンの到来です。七月に発生した六号、七号は海上を通り、幸いに被害を免れましたが、中部地方や東北地方には大きな被害を与えました。台風は「招かざる客」ですが、あの巨大なエネルギーを利用する方法はないものでしょうか。この不景気を一気に吹き飛ばしてくれたらと思います。

今議会は、合併に関する質問が多く出されました。七月十五日に、一市四町が合併協議会を設置し、本格的な協議が始まりました。

合併問題など、重要な情報を一日でも早くお知らせしたいと、夜も編集に取り組みました。愛される「議会だより」として、心を込めてお届けします。ご意見ご感想をお寄せください。(雅)

